

平成 30 年 6 月 吉日

春日井支部会員各位

(公社)愛知建築士会春日井支部
支部長 池田 雅幸
講習見学委員長 川口 俊樹

講習見学会のご案内

夏空がまぶしく感じられるころとなりました。支部会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

来たる 6 月 29 日(金)に東邦ガス様、TOTO 様のご協力のもと、講習見学会を開催いたします。名駅南地域エネルギーセンターと TOTO・DAIKEN・YKK AP の名古屋コラボレーションショールームにて行います。奮ってご参加ください。

記

日 時	平成 30 年 6 月 29 日(金) 14:45 集合
集合場所	名古屋駅 ナナちゃん人形前(名鉄百貨店本店) 名古屋市中村区名駅一丁目 2 番 1 号 ※現地集合、現地解散です。
見学場所	①15:00～16:00 名駅南地域エネルギーセンター(東邦ガス) ②16:30～17:30 TOTO・DAIKEN・YKK AP 名古屋コラボレーションショールーム (大名古屋ビルディング 13F)
参加費	無料
対象者	春日井支部会員及び関係者
申込方法	参加申込書に記入の上 FAX またはメールにて申込みしてください。
【お問合せ先】	講習見学委員長 川口俊樹(スペースデザイン内) 携帯電話 090-1627-8257 E-mail design@song.ocn.ne.jp

講習見学会 参加申込書

お名前 _____

お名前 _____

お名前 _____

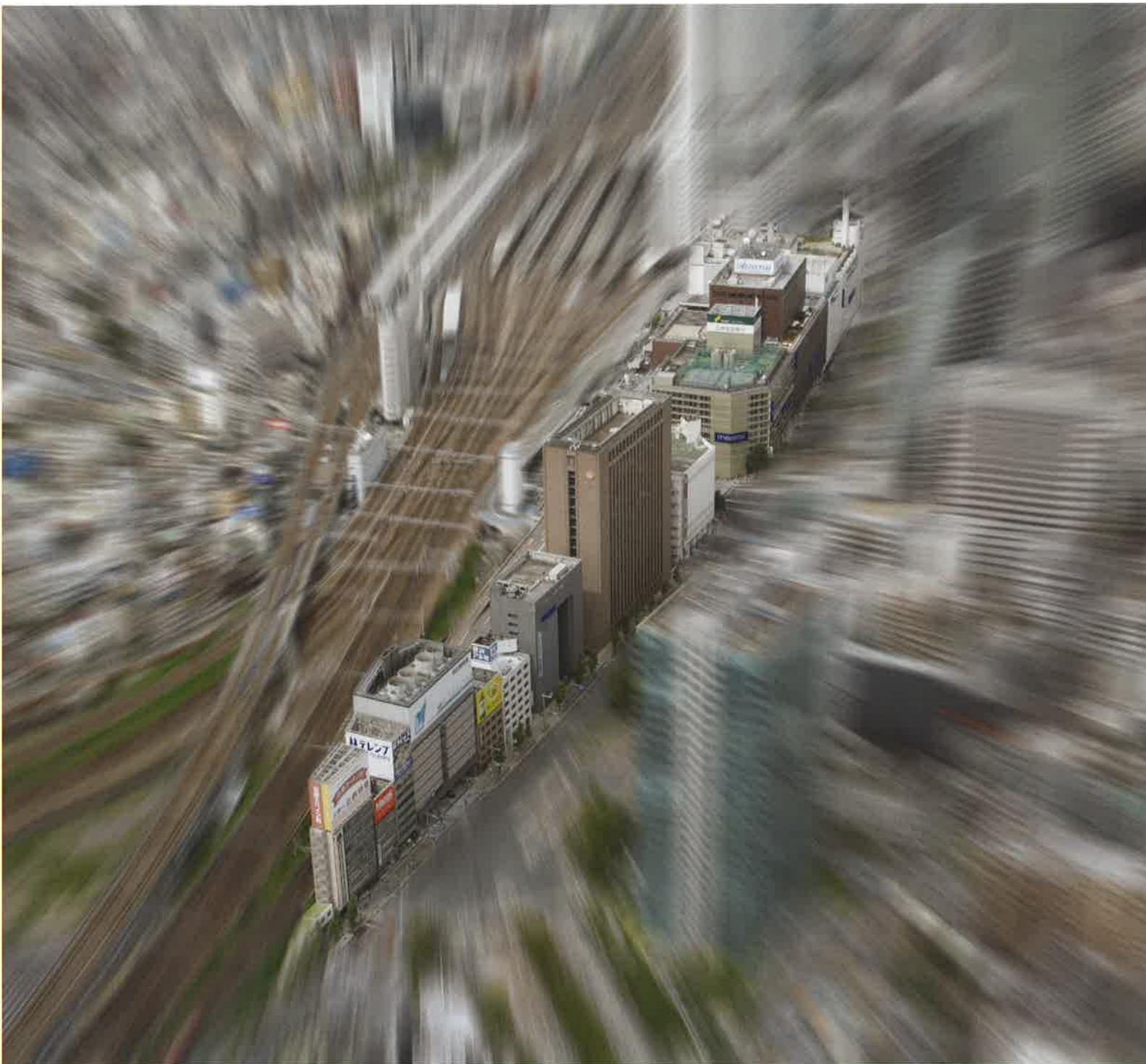
・欠席

お名前 _____

FAX 送信先 0568-37-2732(川口まで)

名駅南地域冷暖房

DISTRICT HEATING AND COOLING IN MEIEKIMINAMI



システム概要

蒸気ボイラと冷凍機により蒸気と冷水を製造し、地域導管を通じてお客さま建物に供給します。

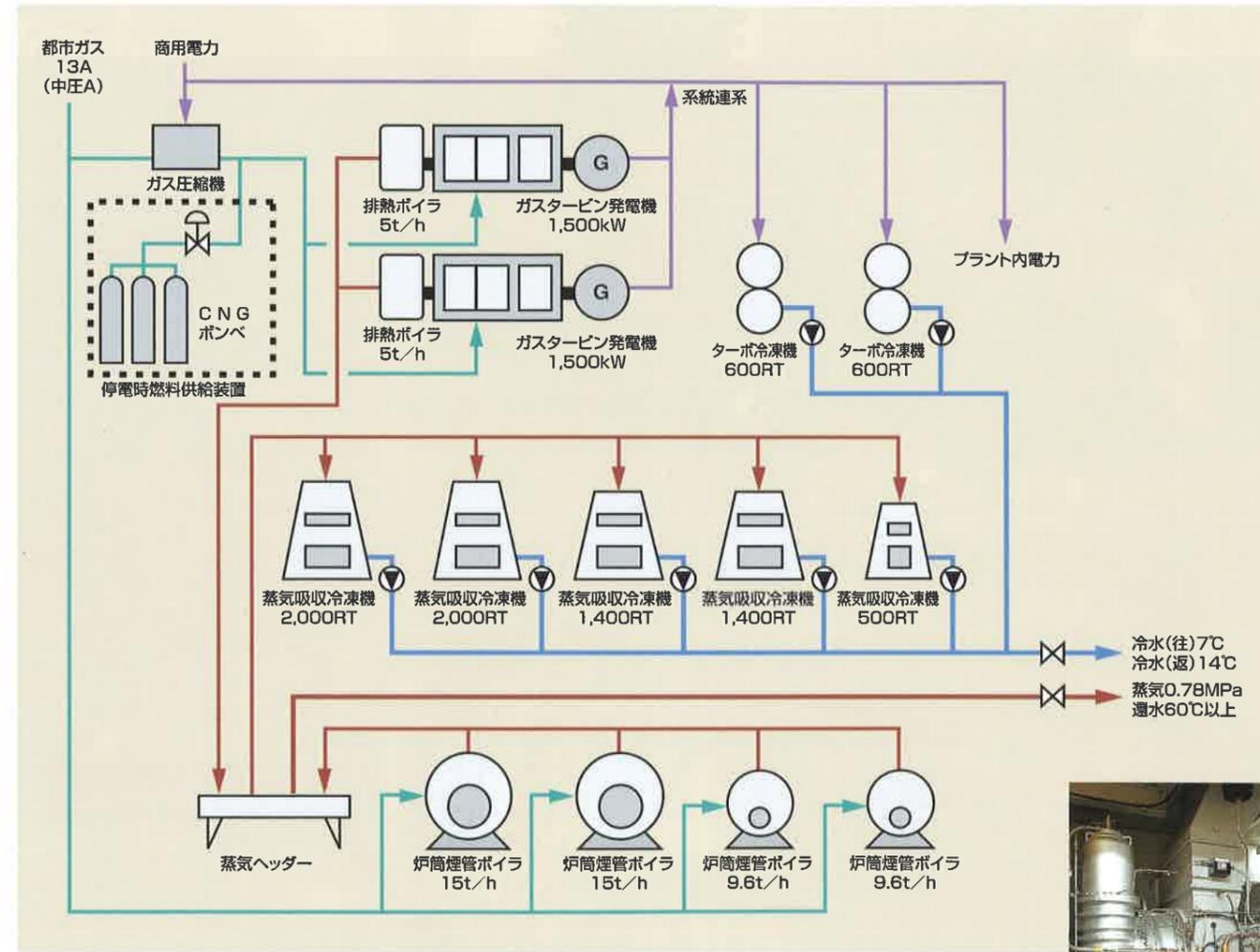
蒸気はクリーンエネルギーである都市ガスを使用した炉筒煙管蒸気ボイラでつくり、

冷水は二重効用蒸気吸収冷凍機とガスタービン発電機の発電電力を利用したターボ冷凍機で製造します。

ガスタービンで発電した電力はプラント内電力としても使用し、

排熱を蒸気で回収することによりエネルギーの有効利用を図っています。

ターボ冷凍機にはオゾン層を破壊しない環境に配慮した冷媒R134aを使用しています。



都市ガスだけを燃料とした非常用発電兼用ガスタービンコージェネレーション

新たに開発した燃料供給装置により停電時のガスタービンの起動が可能となり、また燃料を供給するガス導管が十分な耐震性を有することが認められたことから、都市ガスだけを燃料とした常用ガスタービンでは全国で初めて非常用発電設備兼用が可能になりました。

燃料供給装置は、圧縮天然ガス(CNG)ポンプと圧力調整装置で構成しています。



ガスタービンコージェネレーション



●供給方式

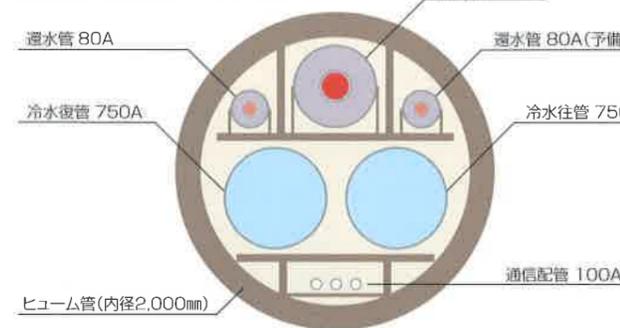
4管方式(冷水・蒸気) 通年24時間の供給

	送り温度	返り温度
冷水	標準7.0℃	標準14.0℃
蒸気	飽和蒸気175℃ 標準0.78MPa	標準60.0℃

●地域導管

配管種別	最大口径	総延長
冷水管	750mm	1,519m
蒸気管	300mm	666m
凝縮水管	100mm	740m

太閤通り推進部シールド断面



中央監視室



炉筒煙管式蒸気ボイラ

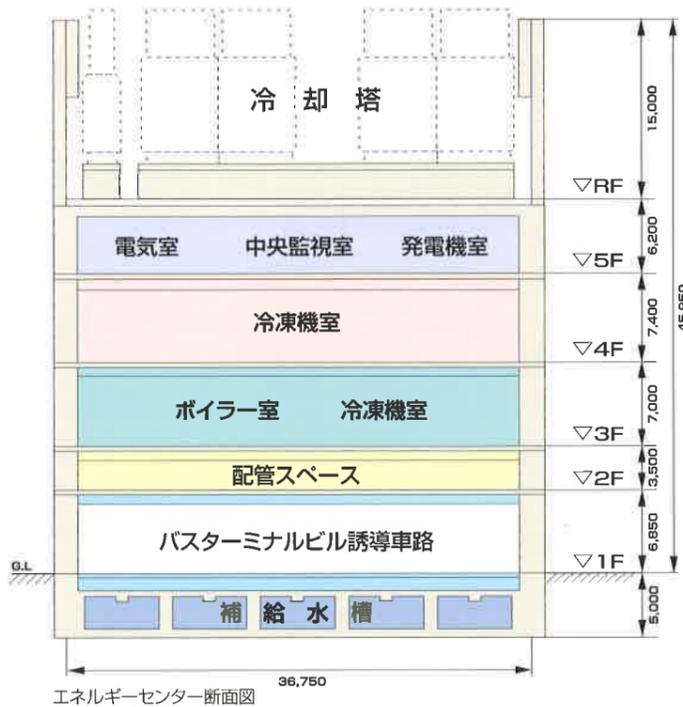
●主要機器構成

機器名	機器仕様	台数
蒸気吸収冷凍機	7,033kW(2,000RT) 冷水出入口温度14~7℃ 冷却水出入口温度40~32℃ 蒸気供給圧力0.78MPa 蒸気消費量8,600kg/h	2基
	4,923kW(1,400RT) 冷水出入口温度14~7℃ 冷却水出入口温度40~32℃ 蒸気供給圧力0.78MPa 蒸気消費量6,020kg/h	2基
	1,758kW(500RT) 冷水出入口温度14~7℃ 冷却水出入口温度40~32℃ 蒸気供給圧力0.78MPa 蒸気消費量2,150kg/h	1基
ターボ冷凍機	2,110kW(600RT) 冷水出入口温度14~7℃ 冷却水出入口温度40~32℃ 電動機出力410kW 冷媒R-134a	2基
炉筒煙管蒸気ボイラ	定格換算蒸気量15.0t/h 常用使用圧力0.83MPa 燃料消費量883Nm ³ /h(13A) 伝熱面積141.7m ²	2基
	定格換算蒸気量9.6t/h 常用使用圧力0.83MPa 燃料消費量565Nm ³ /h(13A) 伝熱面積99.8m ²	2基
ガスタービン発電機	1,500kW タービン回転速度22,000rpm 水噴射式NOX低減装置	2基
水管式排熱ボイラ	定格換算蒸気量5.0t/h 常用使用圧力0.88MPa 供給ガス温度515℃	2基
ガス圧縮機	吐出圧力1.37MPa 流量580Nm ³ /h 電動機出力65kW	2基



蒸気吸収冷凍機

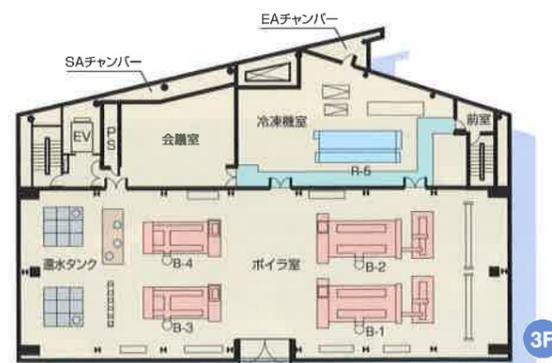
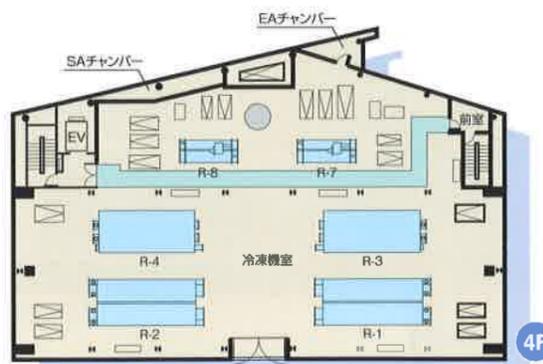
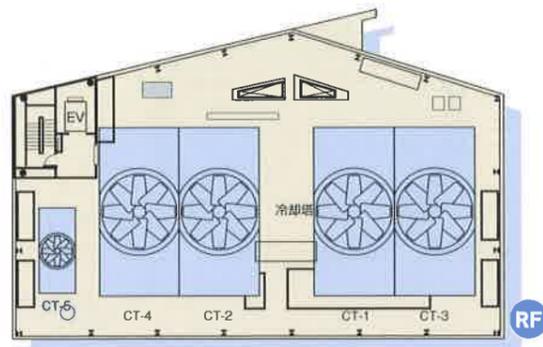
エネルギーセンター概要



名駅南地域エネルギーセンター概要

構造 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
階数 地下1F 地上5F 塔屋2F
建築面積 854㎡
延床面積 4,304㎡
電力 特別高圧電力33kV 2回線受電
ガス 中圧Aスレート供給(13A)
建物所有 名古屋鉄道株式会社

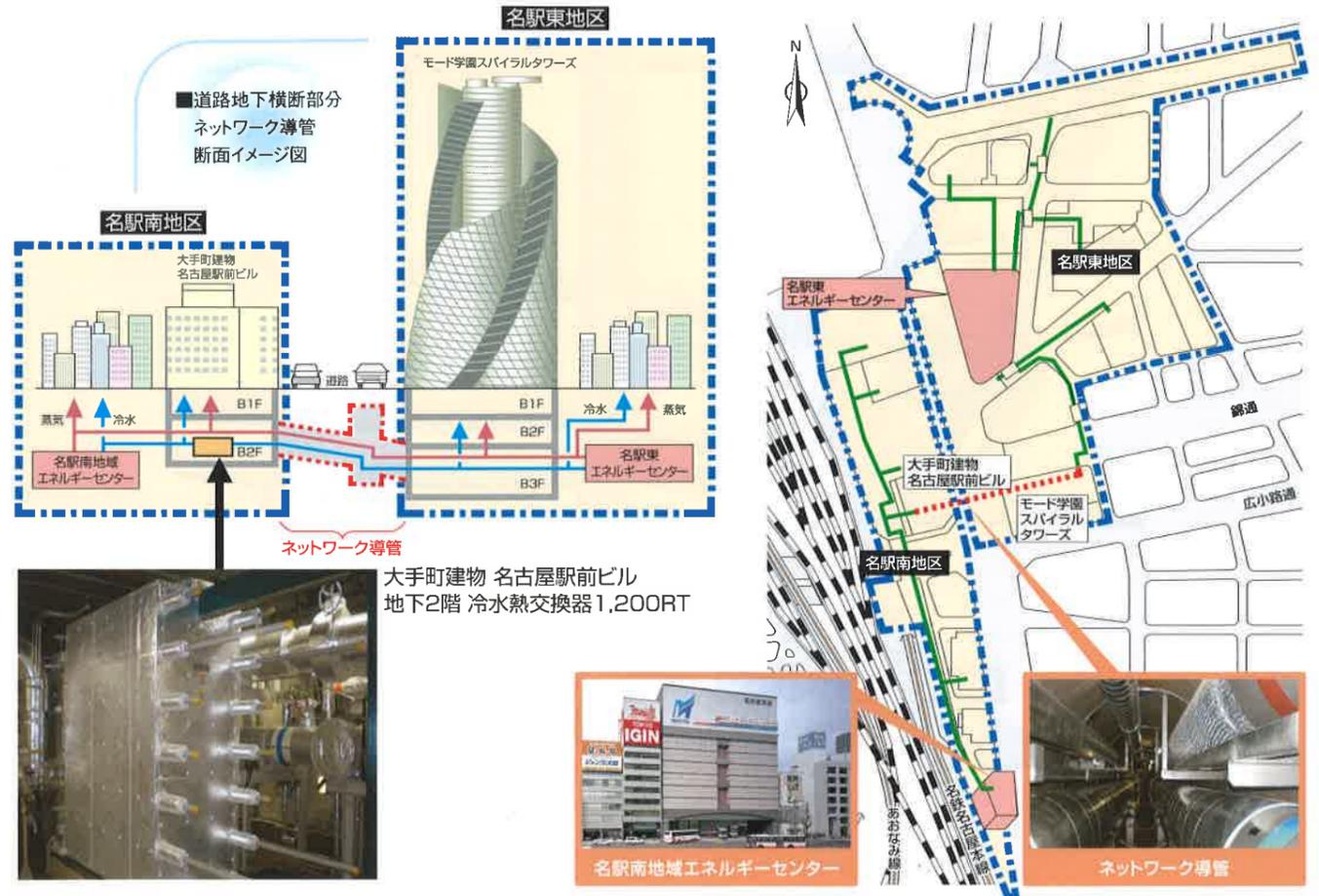
B-1-2	炉筒煙管蒸気ボイラ	15.0t/h
B-3-4	炉筒煙管蒸気ボイラ	9.6t/h
R-1-2	蒸気吸収冷凍機	2,000RT
R-3-4	蒸気吸収冷凍機	1,400RT
R-5	蒸気吸収冷凍機	500RT
R-7-8	ターボ冷凍機	600RT
GT-1-2	ガスタービン発電機	1,500kW
B-5-6	水管式排熱ボイラ	5.0t/h
CT-1-2	冷却塔	2,000RT
CT-3-4	冷却塔(白煙防止機構付)	2,000RT
CT-5	冷却塔(白煙防止機構付)	500RT



名駅地区のネットワーク化概要

ミッドランドスクエア、モード学園スパイラルタワーズを中心とする「名駅東地区」の地域冷暖房と、「名駅南地区」をネットワーク導管にて結び、エネルギー面的利用を促進することによって、省エネルギー、省CO₂を図り、地球温暖化対策・ヒートアイランド対策への貢献を目指すものです。

具体的には、名駅東地区から熱供給を行うモード学園スパイラルタワーズを介して、両地区を接続し、冷水及び蒸気の融通を行っています。



大手町建物 名古屋駅前ビル 地下2階 冷水熱交換器 1,200RT



システム

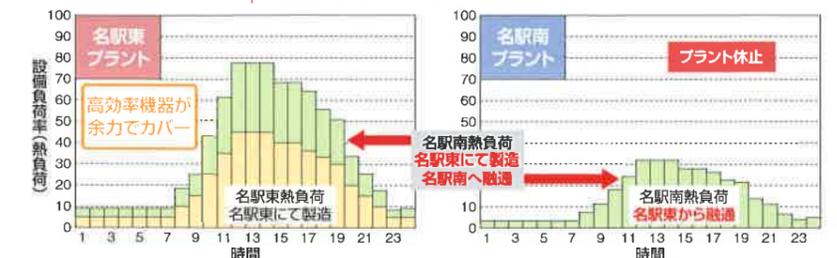
名駅東地区の余剰エネルギーを有効利用し、両地区のエネルギーセンターで最も効率の良い機器運用をすることにより高効率運用を目指します。冷水は熱交換器を介して間接的に、蒸気は圧力差により直接的に、融通を行います。両地区を結ぶネットワーク導管は冷熱媒と温熱媒を独立させた4管方式を採用しています。

冷水システム	最大融通量 導管口径	700m ³ /h 1,200RT 350A
蒸気システム	最大融通量 導管口径	5.0t/h 150A (還水 80A)

中間期の融通イメージ図



熱融通ネットワーク





お問い合わせは
東邦ガス株式会社
 ソリューションエンジニアリング部
 エンジニアリング第一グループ
 〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18
 TEL 052-872-9212(直通)

名駅南地域エネルギーセンター
 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-28-9
 TEL 052-564-8847(直通)



TOTO・DAIKEN・YKK AP 共同リリース

中部圏初 3社コラボレーションでの情報発信拠点 「TDY名古屋コラボレーションショールーム」 2016年3月19日(土)グランドオープン

TOTO、DAIKEN、YKK AP(以下 TDY という)の3社は、2002年、リモデルの空間提案力を強化し、より快適な住空間を提供するため、商品企画・開発や販売支援体制などで業務提携しています。

このたび、3社のリモデルに関する情報発信の拠点となるショールームとして、「TDY名古屋コラボレーションショールーム」を2016年3月19日(土)、『大名古屋ビルヂング』にオープンいたします。

「TDY名古屋コラボレーションショールーム」は、TDY3社コラボレーションとして中部圏初のショールームで、TD・TYの2社でコラボレーションするショールームを含め、全国で9箇所目のコラボレーションショールームです。

3社連携した充実の空間展示とコンサルティングで、環境に配慮しながら快適な暮らしを実現するグリーンリモデル(*)をご提案します。



<大名古屋ビルヂング 外観>



<TDYコラボレーション空間展示イメージ>

【TDYコラボレーションショールームの特長】

<総合受付(13階)>

総合受付からのご案内で、ご来館の目的に応じて3社アドバイザーが連携して対応いたします。専門メーカーである各社のアドバイザーが細やかなコンサルティングを行い、お客様の満足度向上につとめます。また、中部圏最大のターミナル駅である名古屋駅に直結というアクセスの良さで、各地からお越しのお客様をスムーズにお迎えいたします。

<TDYコラボレーション空間展示>

リモデルの魅力を実感、納得いただける空間展示です。戸建のリフォームをイメージしたリモデルの事例を、3社のコラボレーション展示でご紹介いたします。「浴室」「洗面所」「トイレ」「キッチン」「リビング」「玄関」などの空間リモデル展示で、お客様のお困りごとの解決、機能・性能のレベルアップなど、より具体的に納得度を高めてご提案いたします。総合受付の目の前に広がるこの空間では、ご案内をお待ちいただく際にも、リモデルのイメージ作りにお役立ていただけます。

<各社展示>

充実した商品展示で商品の機能や使いやすさをご確認いただき、アドバイザーによる説明やコンサルティングもご参考いただきながら、じっくりと製品をお選びいただけます。また、3社商品が配されたリビング、キッチン、浴室、トイレ、玄関周りやテラスなど、ゾーン別の空間展示も各社エリアに設置しており、多様な空間イメージをご覧いただけます。

・水まわり(TOTO)

清潔で快適な最新水まわり商品の機能性やデザインを分かりやすくご紹介します。トイレ、洗面所、浴室などコーナーごとの空間展示を充実させ、キッチンコーナーには料理教室などのイベントを通じて実際に使い勝手を体感いただけるキッチンスタジオを新設し、体験型ショールームとしてさらに進化します。待ち合せなどの空いた時間にTOTOの歴史やルーツ、名古屋とのゆかりを映像でご紹介するブランドコーナーを新設しました。この他、マンションの暮らしに合わせたモデルルームを提案するマンションリモデルコーナー、高齢者の方に配慮した商品を紹介するコーナーがあります。



・内装建材(DAIKEN)

生活空間展示と豊富な製品展示で、暮らしを体感いただきながら住まいづくりのお手伝いをいたします。畳の小上がりのあるスタイリッシュな和空間や対面キッチンのあるLDK、年齢を重ねても使いやすい玄関まわりを空間で展示。新しい住まい



のイメージをふくらませていただきます。しまうモノに合わせて組合せる収納や、施工が簡単なドアなど、使い勝手や開閉操作などを体感していただく、分かりやすい展示でご紹介しています。ハイグレードの防音室は楽器練習やオーディオシアタールームに最適です。ドア、床材などの豊富な展示と丁寧なコンサルティングで、お客様のご要望に応じた提案をいたします。

・窓、玄関ドアやエクステリア(YKK AP)

熱の出入りが最も多い窓の断熱化を通して、住まいの断熱性能を高め、省エネや健康にも配慮した、快適な暮らしの実現をご提案します。高断熱樹脂窓「APW330」「APW430」を中心に品揃えし、「断熱効果体験ルーム」にて従来の窓(アルミ製の窓)と高性能の窓(樹脂製の窓)の違いを実感いただけます。その高性能な窓や玄関ドアを短時間で簡単にリフォームできる商品「かんたんマドリモ」「かんたんドアリモ」や、フェンスや門扉、カーポートなどの統一感のあるデザインの外構商品展示も充実させました。



【ショールーム概要】

名 称 TOTO DAIKEN YKK AP 名古屋コラボレーションショールーム
所在地 愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビルヂング 13階
電話番号 TOTO名古屋ショールーム
電話：0120-43-1010 FAX：052-308-5661
DAIKEN名古屋ショールーム
電話：052-582-5700 FAX：052-582-5711
YKK AP ショールーム名古屋
電話：052-589-1550 FAX：052-571-0711

営業時間 10:00～17:00
休館日 毎週水曜日(但し、祝日の水曜日は開館)
夏季休暇、年末年始
交通案内 JR・近鉄 名古屋駅 徒歩約3分
規 模 約750坪(約2,500㎡)
TDYコラボ展示：約30坪
T O T O :約345坪
D A I K E N :約95坪
Y K K A P :約196坪
その他共用部 :約84坪
オープン 2016年3月19日(土) 10:00～



＜ご参考＞開設済のコラボレーションショールーム

2004年2月 TDY広島コラボレーションショールーム
2005年4月 TD高松コラボレーションショールーム
2009年8月 TD札幌コラボレーションショールーム
2010年7月 TDY大阪コラボレーションショールーム
2012年7月 TY福岡コラボレーションショールーム →2014年6月 TDY福岡コラボレーションショールーム
2012年11月 TDY東京コラボレーションショールーム
2014年9月 TY横浜コラボレーションショールーム
2015年11月 TY静岡コラボレーションショールーム

*被災地における相談窓口として、TDYとノーリツがコラボレーションし、2011年11月に「石巻コラボレーションショールーム」、2012年2月に「いわきコラボレーションショールーム」を開設しています。

※グリーンリモデルとは

2008年から提唱している、TOTO、DAIKEN、YKK AP 3社共同のコンセプトです。各社それぞれの技術を活かしコラボレーションすることで、「健康配慮」「長もち住宅」「CO2削減」の3つのテーマを実現する商品・空間づくりを提案しています。家族それぞれのライフスタイルや暮らしの夢に答えながら、人にも地球にもやさしい住まいを実現する取り組みです。

*詳しくは「リモデル.jp」(<http://re-model.jp/>)をご覧ください。